

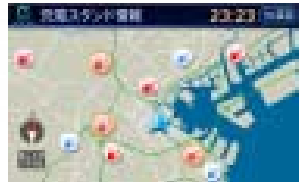
ITによるサポート

■ 航続可能エリア表示 & 充電スタンド自動更新で安心サポート

航続可能エリア表示で、
いつでも安心して走行可能



充電スタンド自動更新で
最新の情報を収集



■ タイマー機能で、出発時はいつでも満充電 & 快適な室内温度

充電中にエアコン作動で
走行開始時の電力消費を節約



タイマー充電なら、
安い夜間電力で充電



(C) Copyright NISSAN MOTOR CO., LTD. 2009 All rights reserved.

15

電気自動車の活用シーン

家庭で
普通充電



EVの新しい走り

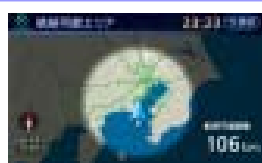
胸のすく加速感
圧倒的な静かさ
スムーズな発進



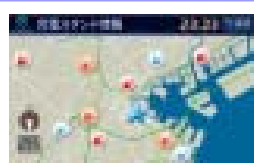
出先で
普通・急速充電



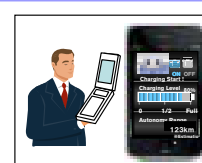
常にITがEVをサポート



航続可能範囲



最新充電ステーション



充電完了通知

(C) Copyright NISSAN MOTOR CO., LTD. 2009 All rights reserved.

16

グローバルな市場要件に適合した性能・信頼性

- 様々な負荷条件を考慮した信頼性の確保、グローバルな性能要求に適合した性能の実現、これらを車全体として最適化する開発が必要



(C) Copyright NISSAN MOTOR CO., LTD. 2009 All rights reserved.

17

EVの充電方法

- 充電ネットワークの考え方

	家庭充電	充電ネットワーク	
		行き先での充電	道程での充電
EV利用	短距離 	短・中距離 	長距離
充電タイプ	普通充電	滞在時間で普通/急速を使分け	急速充電

- 充電タイプ

Type	電源		充電時間
普通充電 	単相100V	~15A	16h
	単層200V	~20A	8h
急速充電 	3相200V		30min

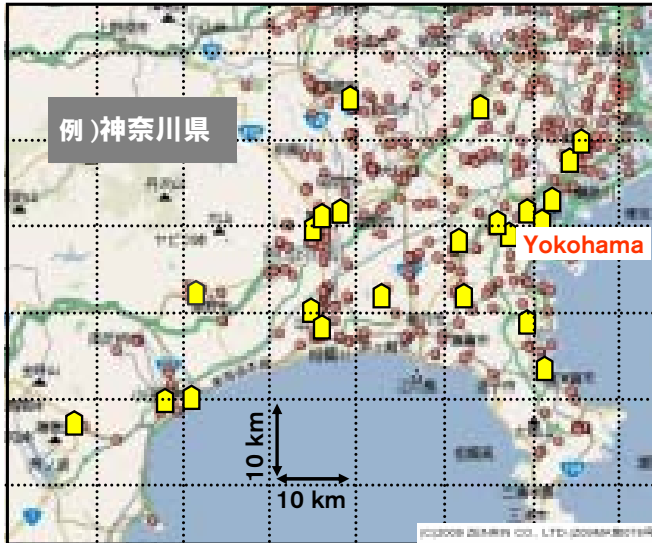
(C) Copyright NISSAN MOTOR CO., LTD. 2009 All rights reserved.

18

都市部のインフラ整備

■ 数多くの公共充電インフラを計画中（例：神奈川県）

2009年3月現在



神奈川県内の公共充電器数

	現在	2010 計画
急速 充電	23 (設置済)	100
普通 充電	160 (計画値)	1000 (~2014)

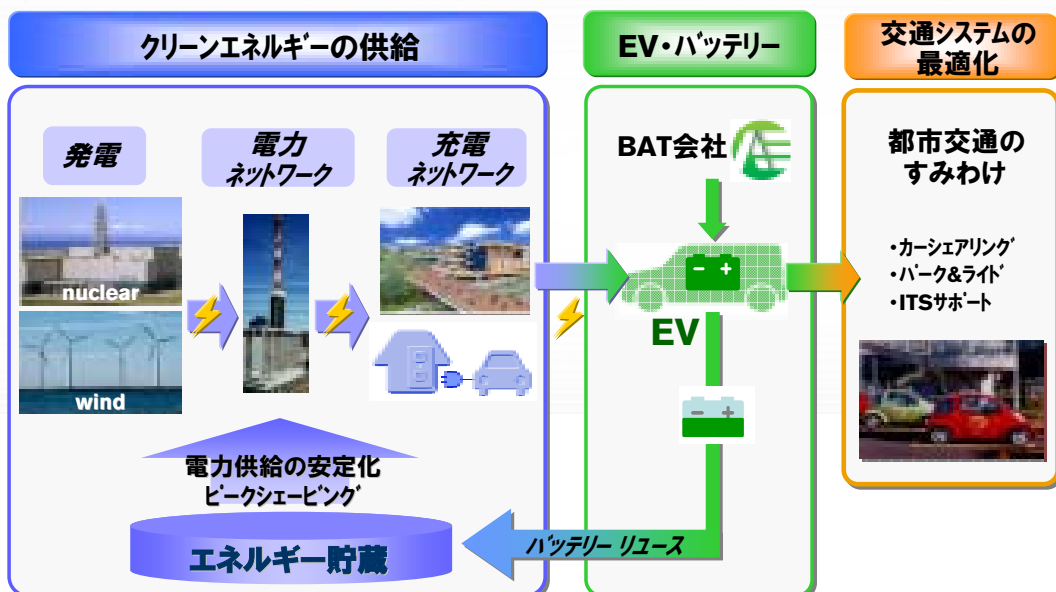
- 急速充電器
- 普通充電器候補地

(C) Copyright NISSAN MOTOR CO., LTD. 2009 All rights reserved.

19

EV普及へ向けた幅広い取組み

■ EV普及には、エネルギー供給、電力貯蔵、そしてモビリティの再編まで含めた、幅広い観点からの検討と取り組みが必要



(C) Copyright NISSAN MOTOR CO., LTD. 2009 All rights reserved.

20

交通システムの最適化

- 移動のエネルギー効率は最適化の重要要件。移動距離・用途に応じた効率最適な移動手段を拡大していく
- EVを中心に、「自在な移動」、「効率的な移動」が実現できると、都市の新しい魅力の創出にも繋がる



(C) Copyright NISSAN MOTOR CO., LTD. 2009 All rights reserved.

21

ヨコハマ モビリティ”プロジェクト ZERO”

- 低炭素モデル都市を目指したフィールドテストの検討を開始
- モビリティ環境に合わせ、中心/周辺部で異なる施策を実施し、トータルでCO2を削減

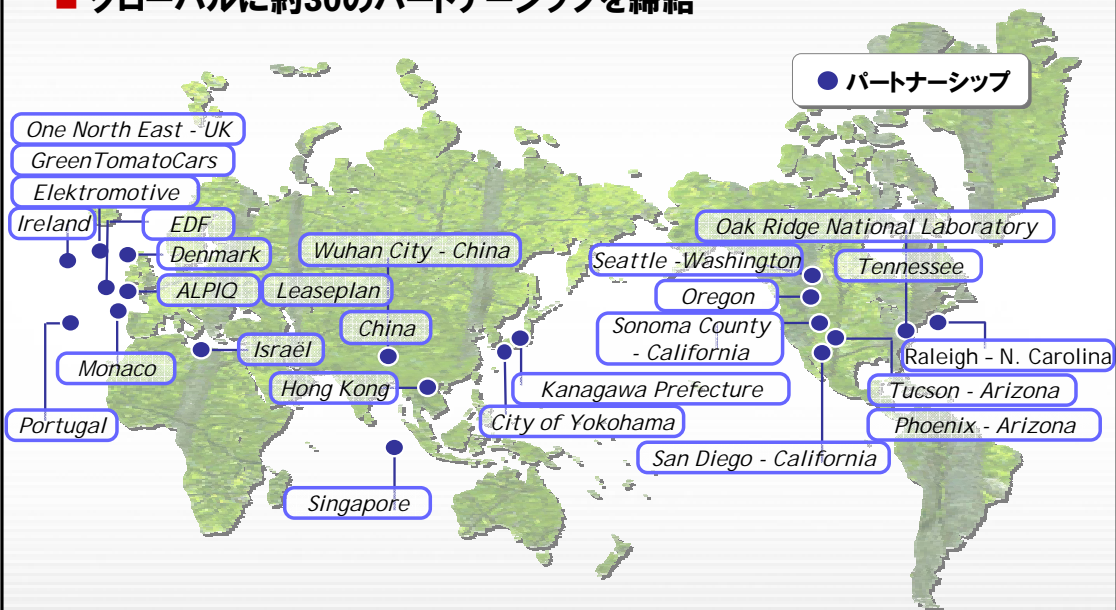


(C) Copyright NISSAN MOTOR CO., LTD. 2009 All rights reserved.

22

EV普及に向けたグローバルのパートナーシップ

■ グローバルに約30のパートナーシップを締結



(C) Copyright NISSAN MOTOR CO., LTD. 2009 All rights reserved.

＊)2009年8月末現在

23

ご清聴ありがとうございました



(C) Copyright NISSAN MOTOR CO., LTD. 2009 All rights reserved.

24

トヨタの次世代車の取り組み

1. これまでの燃費向上への取り組み
2. これまでのHV車普及の取り組み
3. 次世代車の開発状況と技術課題

2010年2月4日

トヨタ自動車(株) CSR・環境部

大野栄嗣

1. これまでの燃費向上への取り組み



従来車の技術開発により、直線的に燃費を向上してきた

車両燃費向上技術

パワートレイン効率向上

エンジン高効率化、高効率領域の使用、
ドライブトレイン伝達効率向上

- ・D-4、新可変動弁系
- ・DIディーゼル
- ・MMT、CVT、多段AT
- ・ユニットダウンサイジング

走行抵抗低減

軽量化、空気抵抗低減、
転がり抵抗低減

- ・部品統合、薄板化、アルミ化
- ・ボデー形状最適化
- ・低転がり抵抗タイヤ
- ・ブレーキ引きずり低減

無駄エネルギー削減

アイドル停止、不要時の燃料停止

- ・減速フューエルカット
- ・エコランシステム
- ・ハイブリッドシステム

エネルギー回収・利用

制動エネルギーの回収、利用

- ・排気熱回収
- ・充電制御
- ・エコランシステム
- ・ハイブリッドシステム

